



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月12日

上場会社名 瀧上工業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 5918 URL http://www.takigami.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧上晶義
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 岩田 亮 TEL 0569-89-2101
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,422	41.5	521	684.8	697	197.5	593	230.5
2022年3月期第1四半期	3,126	△3.1	66	—	234	—	179	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 298百万円 (182.7%) 2022年3月期第1四半期 105百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	271.16	—
2022年3月期第1四半期	82.18	—

(注) 1株当たり当期純利益は、信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めて算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	47,535	37,300	78.5	17,029.26
2022年3月期	48,814	37,103	76.0	16,945.68

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 37,300百万円 2022年3月期 37,103百万円

(注) 1株当たり純資産は、信託口が保有する当社株式を期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めて算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	8,500	32.1	△70	—	110	△64.4	190	△13.7	86.78
通期	17,000	15.8	△180	—	210	△4.3	240	73.0	109.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期1Q	2,697,600株	2022年3月期	2,697,600株
2023年3月期1Q	507,240株	2022年3月期	508,040株
2023年3月期1Q	2,189,808株	2022年3月期1Q	2,186,442株

(注) 期末自己株式数には、「株式会社日本カストディ銀行（信託口）」が保有する当社株式（2023年3月期1Q 17,200株、2022年3月期18,000株）が含まれております。また、「株式会社日本カストディ銀行（信託口）」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2023年3月期1Q 17,752株、2022年3月期1Q 18,412株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
販売実績、受注高及び受注残高(連結)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績につきましては、完成工事高44億2千万円(前年同期比12億9千万円増・41.5%増)、営業利益5億2千万円(前年同期比4億5千万円増・684.8%増)、経常利益6億9千万円(前年同期比4億6千万円増・197.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益5億9千万円(前年同期比4億1千万円増・230.5%増)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

①鋼構造物製造事業

鋼構造物製造事業におきましては、当第1四半期連結累計期間の総受注高は、125億1千万円(前年同期比99億1千万円増・380.3%増)となりました。

四半期損益につきましては、コロナ禍の影響は軽微であり、当社工場の稼働水準は前年同期比で2割程度の増加となり、間接費等の負担もコロナ禍前の水準に回復しつつあります。完成工事高は、当社において計上した官庁・民間受注の道路橋工事における複数の設計変更増及び民間鉄骨工事の設計変更増が大きく寄与しました。また、子会社の保全事業は、鉄道保全工事、高速道路保全工事が共に好調な前年同期水準を維持できたことから、完成工事高34億7千万円(前年同期比10億6千万円増・44.3%増)、営業利益4億2千万円(前年同期は2千万円の営業利益)となりました。

②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業における四半期損益につきましては、コロナ禍の影響は見られず、4月に当社保有の商業ビルを売却したため売上高は減少に転じましたが、子会社の売上高は増加したため、前年同期水準を維持することが出来ました。その結果、売上高2億3千万円(前年同期比4百万円増・2.2%増)、営業利益1億4千万円(前年同期比1千万円増・11.6%増)となりました。

③材料販売事業

材料販売事業につきましては、コロナ禍の影響は、厚板部門・鉄筋建材部門・レベラー部門ともに、軽微でありました。

厚板部門は、当社との取引量が大幅に回復し収支も改善となり、レベラー部門も、前年同期より高い稼働状況となり増収となりました。また、鉄筋建材部門も、材料の高騰が継続し前年同期と同水準の収支となりました。その結果、売上高8億1千万円(前年同期比3億7千万円増・85.2%増)、営業利益4千万円(前年同期は1百万円の営業損失)となりました。

④運送事業

運送事業につきましては、当社製品の輸送取引が継続して大幅な減少傾向にあります。また、グループ外取引も前年同期水準より減少したことから、売上高5千万円(前年同期比2千万円減・33.3%減)、営業損失1千万円(前年同期は1千万円の営業損失)となりました。

⑤工作機械製造事業

工作機械製造事業につきましては、自動車業界はコロナ禍による部品不足等の影響が大きく、国内製造は依然として低調な状況にあります。このような状況から、売上高1千万円(前年同期比0百万円減・3.0%減)、営業損失6百万円(前年同期は7百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は475億3千万円(前連結会計年度末比12億7千万円減・2.6%減)となりました。流動資産は、237億1千万円(前連結会計年度末比12億3千万円増・5.5%増)、固定資産は、238億2千万円(前連結会計年度末比25億1千万円減・9.5%減)となりました。

負債は102億3千万円(前連結会計年度末比14億7千万円減・12.6%減)となり、それぞれ、流動負債は54億4千万円(前連結会計年度末比13億1千万円減・19.4%減)、固定負債は47億8千万円(前連結会計年度末比1億6千万円減・3.3%減)となりました。

純資産は、373億円(前連結会計年度末比1億9千万円増・0.5%増)となりました。この結果、自己資本比率は78.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想については、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	10,624	11,215
受取手形・完成工事未収入金等	9,028	8,616
有価証券	1,100	2,100
商品及び製品	76	90
材料貯蔵品	468	512
未成工事支出金	108	149
その他	1,071	1,029
流動資産合計	22,478	23,714
固定資産		
有形固定資産		
賃貸不動産(純額)	8,212	5,982
その他(純額)	6,115	6,188
有形固定資産合計	14,328	12,170
無形固定資産		
ソフトウェア	45	44
その他	16	15
無形固定資産合計	62	60
投資その他の資産		
投資有価証券	11,645	11,291
その他	299	298
投資その他の資産合計	11,945	11,589
固定資産合計	26,335	23,821
資産合計	48,814	47,535
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,021	3,532
未成工事受入金	460	602
工事損失引当金	121	154
その他の引当金	224	98
未払法人税等	79	215
その他	1,852	844
流動負債合計	6,759	5,448
固定負債		
長期借入金	666	661
その他の引当金	209	192
退職給付に係る負債	972	964
繰延税金負債	2,623	2,539
その他	479	427
固定負債合計	4,951	4,786
負債合計	11,710	10,235

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,361	1,361
資本剰余金	395	400
利益剰余金	33,368	33,852
自己株式	△2,716	△2,711
株主資本合計	32,409	32,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,701	4,405
退職給付に係る調整累計額	△7	△7
その他の包括利益累計額合計	4,693	4,397
純資産合計	37,103	37,300
負債純資産合計	48,814	47,535

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
完成工事高	3,126	4,422
完成工事原価	2,650	3,456
完成工事総利益	475	965
販売費及び一般管理費	409	443
営業利益	66	521
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	148	174
賃貸収入	7	9
その他	11	8
営業外収益合計	172	195
営業外費用		
支払利息	—	0
投資有価証券評価損	—	14
自己株式の取得に関する付随費用	0	1
賃貸費用	2	3
雑損失	1	—
営業外費用合計	4	19
経常利益	234	697
特別利益		
固定資産売却益	7	188
特別利益合計	7	188
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	4
投資有価証券売却損	4	10
投資有価証券評価損	—	3
特別損失合計	5	18
税金等調整前四半期純利益	236	867
法人税、住民税及び事業税	30	225
法人税等調整額	26	48
法人税等合計	56	273
四半期純利益	179	593
親会社株主に帰属する四半期純利益	179	593

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	179	593
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△75	△296
退職給付に係る調整額	1	0
その他の包括利益合計	△74	△295
四半期包括利益	105	298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105	298
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼構造物 製造事業	不動産 賃貸事業	材料販売 事業	運送事業	工作機械 製造事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	2,408	227	405	55	19	3,116	9	3,126	-	3,126
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	34	24	-	59	-	59	△59	-
計	2,408	227	440	80	19	3,175	9	3,185	△59	3,126
セグメント利益又は損失 (△)	21	133	△1	△13	△7	133	5	139	△72	66

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2 調整額の「セグメント間の内部売上高又は振替高」には、セグメント間取引の消去額△59百万円、「セグメント利益又は損失(△)」には、セグメント間取引の消去額0百万円、セグメント間未実現利益の消去額0百万円及び親会社本社の総務部門等管理部門に係る全社費用△73百万円を含んでおります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼構造物 製造事業	不動産 賃貸事業	材料販売 事業	運送事業	工作機械 製造事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	3,473	231	663	24	19	4,412	10	4,422	-	4,422
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	0	152	28	-	182	-	182	△182	-
計	3,473	232	815	53	19	4,594	10	4,604	△182	4,422
セグメント利益又は損失 (△)	429	149	42	△13	△6	600	6	607	△85	521

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2 調整額の「セグメント間の内部売上高又は振替高」には、セグメント間取引の消去額△182百万円、「セグメント利益又は損失(△)」には、セグメント間取引の消去額△2百万円、セグメント間未実現利益の消去額0百万円及び親会社本社の総務部門等管理部門に係る全社費用△83百万円を含んでおります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

販売実績、受注高及び受注残高(連結)

(1) 販売実績

区 分	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁	2,012	64.3	2,923	66.1	9,644	65.7
鉄 骨	395	12.7	549	12.4	1,975	13.5
小 計	2,408	77.0	3,473	78.5	11,620	79.2
不 動 産	227	7.3	231	5.3	951	6.5
材 料 販 売	405	13.0	663	15.0	1,705	11.6
運 送	55	1.8	24	0.6	233	1.6
工 作 機 械	19	0.6	19	0.4	135	0.9
そ の 他	9	0.3	10	0.2	32	0.2
合 計	3,126	100.0	4,422	100.0	14,678	100.0

(2) 受注高

区 分	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁	2,575	98.8	11,667	93.2	11,325	77.9
鉄 骨	30	1.2	850	6.8	3,214	22.1
合 計	2,606	100.0	12,517	100.0	14,540	100.0

(3) 受注残高

区 分	前第1四半期連結会計期間末 (2021年6月30日)		当第1四半期連結会計期間末 (2022年6月30日)		前連結会計年度末 (2022年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁	17,504	95.0	27,365	90.6	18,622	88.0
鉄 骨	927	5.0	2,835	9.4	2,534	12.0
合 計	18,432	100.0	30,201	100.0	21,157	100.0